

事務事業評価シート

(H.30)No.	4397	(H.29)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	保健センター改修整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	永岡 一郎	

会計区分	事業コード	255201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	保健センター改修整備事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健センター管理費	保健センター改修整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施 策	2	健康づくり
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
高圧受変電設備及びトイレの改修により、保健センターの安全な利用環境を提供することができる。また、応急診療所の空調設備の改修により、365日毎夜間(休日・年末年始等は終日)、一次救急患者の受入環境を維持することができる。		
事業内容		
高圧受変電設備については、保守点検業者から漏電等の危険性を指摘されているため、高圧気中負荷開閉器の改修を先行して行うとともに、電気容量の妥当性検討のための設計業務委託を行う。また、空調設備については、センター部分の空調の改修に向け、電気式とガス式の比較検討を含めた設計委託を行うとともに、応急診療所に個別電気式空調を設置する。また、1階、2階トイレの改修(洋式化)を行う。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	/		○設計業務委託 3,114千円 【内訳】 応急診空調改修 479千円 保健センター部分空調及び受変電設備改修 1,677千円 トイレ改修 958千円 ○工事請負費 8,027千円 【内訳】 応急診空調改修 1,626千円 受変電設備改修 669千円 トイレ改修 5,732千円		保健センター部分空調及び受変電設備改修工事		
			/		/		/

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費				11,141千円	52,496千円		
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債			11,100	52,000		
	その他()						
	一般財源	0	0	0	41	496	0
人工数	職員			0.14人	0.14人		
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	1,036千円	1,036千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	12,177千円	53,532千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	
施設開設から30年以上が経過した中で、空調設備や受変電設備等の老朽化が進んでいる。また、トイレ改修(洋式化)の要望に対応するため、利用者への影響を最小限にとどめ、効果的、計画的に改修を進める必要がある。	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
保健センター部分の空調設備及び高圧気中負荷開閉器を除く受変電設備の改修工事を実施する。	